



▲こどもみらい食堂



▲クリスマス会



ひらら児童館では、地域の方と親子と一緒に楽しめるイベントが盛りだくさん！

各児童館との連携

新城さん「市内には、民間も含め数か所の子育て支援拠点があります。そういった施設が協議会という形で繋がっており、今後、各施設が連携した取り組みを企画したいと考えています。『あの児童館なら先生で草花遊びができる、この児童館には工作が得意な先生がいる』など、それぞれがもつ良さを活かして子供たちが各館を巡れるようになったら素敵だと思いませんか？

児童館は、自分の住んでいる地域以外でも利用したいときにどこでも使えます。児童館の機能や場所など、まだまだあまり知られていない部分があるので、子育て支援拠点があるということと、私たちがここにいてということ、より多くの方に知ってもらいたいですね。」

コロナの影響

全国的に産後うつ・自殺・虐待が増えている

コロナの影響で、収入の落ち込みや人と触れ合う機会の減少等により気持ちが不安定になったり、子育て相談施設が休館になり、どこにも相談できず悩みを抱えてしまうケースが増えています。子供たちも友達と思い切り遊べないストレスを抱えるなど、親と子の両方に影響がでています。



新城さんが目指すもの

「当機構はスローガンに『こどもの明日をつくる』を掲げていますが、子供の明日は子供自身が創るものなので、子供が未来を創っていくことを支える大人でありたいと思い、設立しました。当機構が目指すのは、子供のイメージや夢を表現するのを支援する場所であること、もうひとつは、大人も幸せを感じられる場所であることです。子供の幸せは大人の幸せとセットになっていて、大人も幸せでなければいけません。大人も普段の幸せを感じてもらえる空間を作り出す団体でいたいと思っています。

地域に元からあるものに、捉え方や

職員の個性が組み合わさると、

その場所ならではの文化が

うまれます。例えばここは

目の前に未来創造センター

があって、近くにけん玉が

得意な先生がいたり、新聞

紙をくれるおじさん、サタ

パンピンをくれるおばさん

お話をしてくれたのは…
ひらら児童館長

しんじょう むねふみ
新城 宗史 さん

笑顔がとっても優しい新城さん。
取材中も、新城さんのもとへ
子どもたちが次々に会いに
来ていました。

会えなくなったら、つながってるよ。

一斉休校に伴い、児童館や子育て支援センターも臨時休館を余儀なくされました。その間、職員の方が一番辛かったことは、子供が見えないことです。子供の姿を少しでも見ることができれば、元気にしているか、心の変化に気づいて支援ができますが、コロナ禍ではなかなかできません。

このような状況から、子供たち・保護者のためにできることをしたいと始めたのが「こどもみらいおうちじどうかん（※以下おうち児童館）」です。

この事業の狙いは、おうち児童館で使う工作キットを取りに来るときと完成したものを見せてくれるときに子供たちの様子を見ることと、外出自粛中でも家の中の楽しみをつくることです。

この事業は宮古島市内でこれまでに前例がなく、子供たちがこの教材で満足できるのか、新城さんは周りの職員の方々とアイデアを出し合い、常に模索しながら準備を進めました。



こどもみらいおうちじどうかん

動画サイトにて、ひらら児童館の職員による生配信の読み聞かせや、手遊び、歌、体操・ダンス、パネルシアター、コンサート、工作キットの作り方など様々な動画を配信しています。

【おうち児童館】
<https://create-okinawa-kodomo-mirai.jimdofree.com/> おうちじどうかん/



新城さんがまず取り組んだのが、工作キットの作成です。材料は普段家にあるもので作れること、また、大きい子は複雑な工作、小さい子は保護者が作って一緒に遊べるものなど、対象を意識して作成しました。しかし、ただの工作キットでは、子供たちは取りに来てくれません。そこで、子供たちにほしいと思ってもらえるように大人気のキャラクターのパッケージや、メッセージなど、付加価値がつくよう工夫しました。

新しい支援様式

児童館が再開する日、朝から再開を心待ちにしていた多くの子供たちが訪れました。保護者の方々は、「先生に会えないから、うちの子は毎日先生の動画を観ていましたよ」「おうち児童館があったから、家で子供とコンサートや手遊びを楽しめました」などたくさん嬉しそうな反応がありました。

新城さんは、コロナ禍での子育て支援について、新たな段階にきていると話します。

「コロナが流行した第一波のときは対策Ⅱ命を守ることで、とにかく接触しないために施設は全て休館となりました。ですが、第一波のときにストレスや産後自殺等の問題があつてから、第二波は命を守りつつ支援を継続するという課題が出てきました。手洗い・消毒の徹底や換気、ソーシャルディスタンスの確保、対面しない椅子の配置や口に入れるものや遊具を減らす・なくすなど、最大限の対策をして居場所を保証する『新たな支援様式』を考える段階に来了という気がします。」



児童館は、ここで遊びたい、お話ししたいお友達をいつでも待っています。お父さんお母さんたちの、子育ての相談も大歓迎です。ここにいらっしゃる先生たちが、いつでも、やさしく迎えてくれますよ。



ひらら児童館 〒906-0007
沖縄県宮古島市平良東仲宗根807
一般社団法人 沖縄こどもみらい創造支援機構

<https://create-okinawa-kodomo-mirai.jimdofree.com>



児童館においてよ

- 居るところがなかったら、児童館においてよ。
 - やることがなかったら、児童館においてよ。
 - 話せる人がいなかったら、児童館においてよ。
 - わかってくれる人がいなかったら、児童館においてよ。
 - がまんできないほどしんどくなる前に、児童館においてよ。
- みやこじまの児童館は、ずっとここにいます。

<https://www.city.miyakojima.lg.jp/kurashi/kodomo/jidow/jidoukan.html>



ひらら児童館・上野児童館・下地児童館
佐和田児童館・池間添児童館
宮古島市児童館連絡協議会